

岐阜信用金庫の「G's Dream (ジーズドリーム)」

ポイント

- 岐阜信用金庫は 2025 年 4 月、創業の地に新拠点「G's Dream (ジーズドリーム)」を開設した。
- 同施設は地上 3 階建てで、1 階は若者・地域、2 階は個人・事業者、3 階は職員それぞれの“夢”を叶える場を提供するフロア構成となる。
- 「まちづくり」の一貫として地域の賑わいを創出するべく、子育て世代向けイベントや個人・法人向けセミナーなどを実施している。
- 開設から 1 年で 115 のイベントやセミナーを実施し、来場者は 1 万人を超えるなど、地域における存在感が高まりつつある。

1. 開設の経緯

岐阜県岐阜市に本店を置く岐阜信用金庫は、2024 年 3 月 31 日に金庫創立 100 周年を迎えた。その一環として同金庫はさらに次の 100 年を見据えた持続可能な社会の実現に向け、創業の地である旧若宮町支店の跡地に新拠点「G's Dream (ジーズドリーム)」を開設した（図表 1・2）。同施設は、これまでの金融サービスの枠に捉われない『新しい価値』の提供を通じて、幅広い世代の市民や、事業者とのコンタクトを図り、将来に亘る同金庫と地域との繋がり強化を開設目的とする。

同施設は、『地域・人・企業の“夢”を創り叶える場所』を基本コンセプトとする。土日を含め営業時間を 9 時～17 時とし、定休日は毎週月曜日・祝日・年末年始（12/31～1/3）に留める。預金取引などの勘定は持っていない。

なお同施設は地方創生部に所属し、2026 年 6 月時点の担当は 5 人となる。担当者はローテーションを組んで休日出勤などに対応している（原則として同施設定休日の月曜日ともう 1 日に休みを取得する）。

（図表 1）同金庫の概要（25 年度末）

本店所在地	岐阜県岐阜市
設 立	1924（大正 13）年 3 月
預 金 残 高	2 兆 6,481 億円
貸 出 金 残 高	1 兆 5,189 億円
店 舗 数	89 店舗
役 職 員 数	1,426 名

（図表 2）ジーズドリーム



（備考）信金中金総研 作成・撮影

2. 各フロアの概要

同施設は地上3階建てで、各フロアの概要は次のとおりとなる。

- 1階：「若者・地域の夢を叶える」をコンセプトとし、音楽演奏会や各種イベント、講演会などを開催している。なお1階は天井が高く開放的な空間となる。
- 2階：「個人・事業者の夢を叶える」をコンセプトとし、ライフプランニング支援をはじめ個人向けの相談や、本業支援などの事業者向け相談を行っている（図表3）。なお2階フロアは可動式パーテーションで4つの部屋に分けることが可能である。
- 3階：「職員の夢を叶える」をコンセプトとし、職員の自己啓発や職員同士の交流を促している（図表4・5）。フロアは職員向けの自習スペースと懇親会等が可能な交流スペースからなる。

3. 活動内容

2025年度には自治体や企業、個人、教育機関など140先と連携し、115のイベントやセミナーを開催し、稼働日数も291日に達した。2025年度の来場者数は1万人を超え、そのうちイベント来場者の43%が同金庫の未取引先となるなど、新たな顧客接点の創出に貢献している。3階の自習スペースは土・日曜日も開放しており、自己啓発で利用する職員が増えているほか、交流スペースを用いて同期職員懇親会を開催するケースもみられるようになった。

なお、イベントやセミナーの参加案内は営業店経由に加え、同施設の専用Instagram（公式アカウント）でも周知を図っている。特にイベント募集についてはSNSやHP・アプリ経由といった非対面チャネルからの申込みが目立つ（集客の2割強を占める）。

4. 今後の展開

同金庫は、今後も同施設で実施するイベントやセミナーの深化を図っていく。新しい価値の提供を通じて、顧客・地域・同金庫を結ぶ「つながり」を創出し、次の100年に向けた将来基盤を構築していく考えである。

（図表3）2階Room



（図表4）3階自習スペース



（図表5）3階コミュニティルーム



本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断でお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。